

エポキシ樹脂系二液混合形端部処理材 エポシールPLUS取扱説明書

1. エポシール PLUS セット内容

主剤	(1.0 0缶)
硬化剤	(3.0 0缶)
カラーマスター (色調合剤)	(1袋)
空カートリッジ (カートリッジノズル・カートリッジふた)	(4組)
攪拌棒	(1本)
マスキングテープ (18mm×18m)	(7巻)

2. 特長

- ・硬化後の皮膜が固くシール強度が強いため床材の剥がれを防止するのに最適です。

3. 適用床材

- ・タキストロン タフスリップタイプなど

4. 適用下地

- ・セメントモルタル、コンクリート、塗り床、金属床など

5. 標準使用量

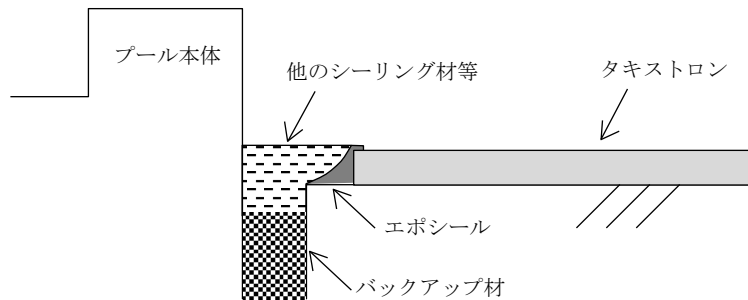
- ・50～60m / 2kg セット

6. 下地条件

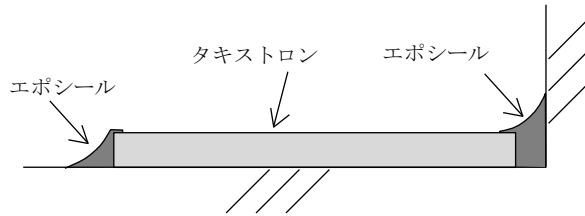
- ・欠け、不陸、突起物がなく平滑であること。
- ・乾燥が十分であること。
- ・粉ふき、クラック、たわみなどがなく十分な強度があること
- ・不良コンクリートの表皮、ワックス、ペンキ、汚れ、塵埃などが無いこと。

7. 一般的な注意

- 1) エポシール作業はあらかじめ段取りが必要なので施工手順に従って作業を行ってください。
- 2) エポシールは端部仕上げを目的としているため他のシーリング材（シリコン等）と比較して、強度は強く固く硬化します。伸縮の大きな場所には他のシーリング材と併用してください。



3) 少し垂れが生じるような粘度に調整していますので仕上げ面は下図のようになります。



4) 主剤と硬化剤を混合すると化学反応によって硬化するため、
 可使用時間内に使い切ってください。

気温	可使用時間
35℃	1時間
20℃	1.5時間

5) 粗密度な下地の場合、及び高温時にエポシール表面に泡が生じることがありますので、その場合はプライマー（タキボンド #625）を塗布してからシールしてください。

6) 不要部分に付着した場合は直ちに布やシンナーを染み込ませた布で拭き取ってください。

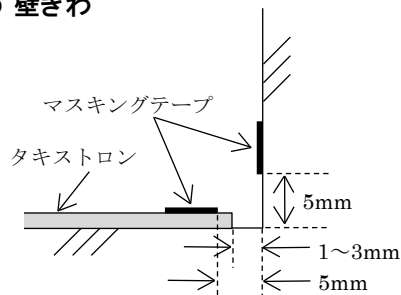
8. 施工手順

1) 下地条件を満たしているか下地を確認してください。

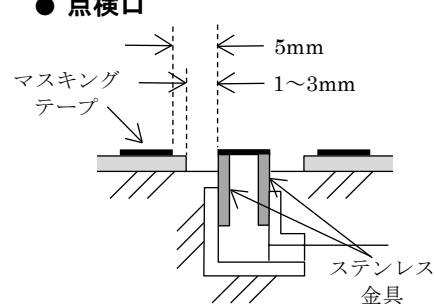
2) マスキングテープ貼り

・床材、壁などを汚さないため、また仕上げ線をきれいにするため下図のようにマスキングテープ貼りが必要です。

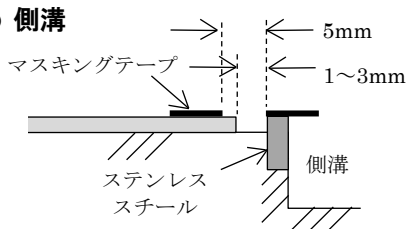
● 壁ぎわ



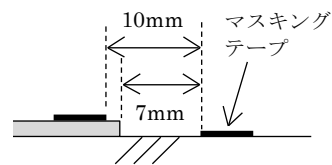
● 点検口



● 側溝

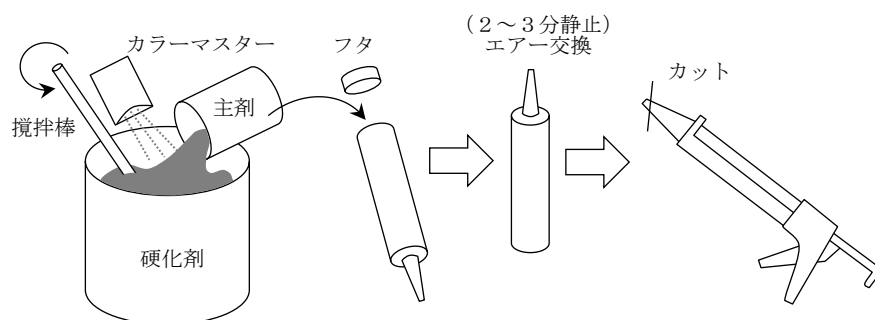


● 端部



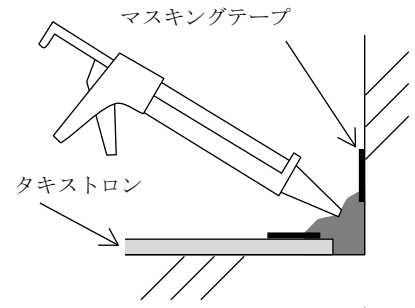
3) エポシールの混合およびカートリッジへの注入

・エポシールの混合は、主剤およびカラーマスターを硬化剤の缶と一緒に入れ攪拌棒で色が均一になるまで十分に攪拌してください。攪拌が不十分であれば硬化不良、色ムラが生じます。



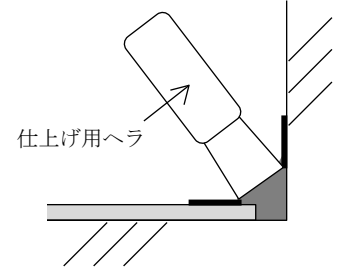
4) エポシールの打設

- ・気泡をまきこまないように目地の下部から入念にコーキングガンで、打設してください。



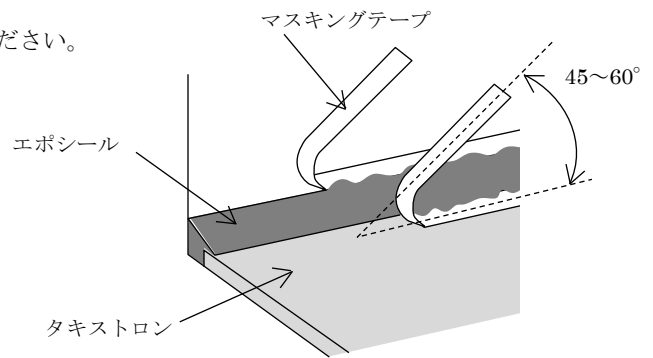
5) ヘラ仕上げ

- ・ヘラ仕上げはエポシール打設後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。



6) マスキングテープ除去

- ・マスキングテープの除去は、ヘラ仕上げ後直ちに行ってください。



7) 清掃

- ・目地まわりの汚れは、シンナーを染み込ませた布で拭き取ってください。

8) 養生

- ・ヘラ仕上げ後硬化するまで直接触れないでください。
(目安 20℃—1日 35℃—12時間)
- ・実際の使用までは、施工後2～3日の養生が必要です。